

第3回 インフラとコンテンツ (業態の変化と事業)

2019-09-17

会計と経営のブラッシュアップ

2019年7月29日

山内公認会計士事務所

本レジュメの参考資料 (企業会計基準)、(激流 2017.4~8 国際商業出版)

(人工知能は人間を超えるか 松尾豊著 2015.3 中経出版)

(会計が動かす世界の歴史 ルートポート著 2019.2 KADOKAWA刊)

(中央銀行が終わる日 2016.3 岩村充著 新潮社刊)

業態の変化

「メディアはメッセージ」というマーシャル・マクルーハンの言葉は、業態（インフラ・環境）はコンテンツ（事業）を規定するということだ。古い業態（インフラ）を基礎にしている事業（コンテンツ）は衰退する。船というインフラが沈没しつつあるとき、生存しようとする企業は古い業態から脱出しなければならない。沈みつつある船上での改善ではなく、古い船から脱出し、新しい船・業態の中で、根本的な経営の改革（コンテンツの改革）が必要となる。



3. スーパーとネットの競争優位 (70%の転換) 新規化への試み

- (1) 売上高の総合力を維持(個人商店)より減らした(活力、價格引下げ率を)
 ① 交渉でなく、協議して價格を明示 (顧客に対する價格の公明性の向上)
 (商店の信頼性の向上)

4. コンビニの競争優位 (70%の転換) 新規化の試み

- (1) 生産・販売・小売店舗のコンビニ化と新規店舗

- (2) 顧客の行動から売却の距離を短縮

- (3) 運送網
POSで商品の在庫管理
~~顧客の行動を分析して販路を構築~~
販送ネットワーク構築

→ 商店を 営業で
運送網の効率化の進歩

顧客の移動距離を一定程度縮め、顧客の以外の商品を一つで購入する。

この能力を車両統合・情報化によって極限まで推進し、

即時販売を実現

5. QRコード、コンビニ等への挑戦

- (1) 販売店QRコードを手元、エーサイの入出庫により、そのコード
操作によって決済を進めること

- (2) 業者登録後、販売店紙面印刷用QRコードを店舗に貼り、
販売者登録後: レジもまた同時に設計が変わること。
XBOXの決済手段を提供することから、どのようにする。

スマートCPU(中央演算装置)が、レジを代替し、
スマート通信機の店舗間の通信網を構築する

6. INNOVATION の転換 (競争環境の激変の下)

(1) 在庫の運び、在庫の運送 「消費者の店に行く」

(2) 消費者に運び、消費者に運ぶ 「消費者が店に行く」

(3) インフラ × フロセスを消費者自身へ 「消費者が店に行く」
担わせ

これは、インフラ × フロセスの普及による構造の劇的変化と
それに伴う競争環境の激変の兆しを示す

(4) ECでの発展才出:

相客は、自らの手で出で、自分の持った商品を手に取る時代。
これは、最初、消費者が、「店に行く」というフロセスを転換させ
ことです。

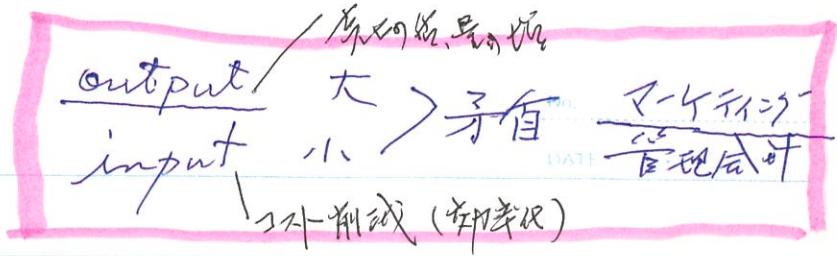
7. 流通の中心的な変遷 (20世紀の中期から21世紀の初期)

技術革新、人材の利点を最大限に發揮する傾向に進歩的。

本世纪、次の100年で最も経済的に成功したのは、

AIによる自動化、新しい技術と時代に対する「人間」の理解。

類似と相違



管理会計

マーケティング

コスト削減による利益創出、CPA分析

販売量の増加によって検討しているのが、
製品別単価計算

これからより多くの商品を販売する

販売量が増加する時 ---

たとえば、製品Aはサイクル

2ヶ月で1回、マーケティング部門、2月=4-2月

販売額も4ヶ月で ---

管理会計

マーケティング

売上高

販売量増加

売上原価

価格設定

販売費

効果的広告

コスト削減

販売促進

価格モニタリング

流通獲得の研究

製品別単価計算

回収率

予算管理方法

販売部門

マーケティング

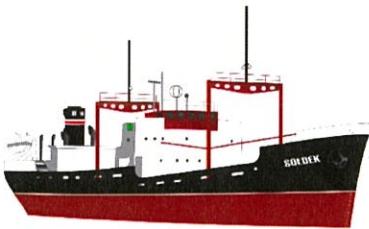
マーケティング評議会

マーケティング会議

価格

機会損失

マーケティング会計



業態の変化と事業 (新しいコンテンツ)

(8月のごあいさつ)
2019年8月1日(木)

「メディアはメッセージ」というマーシャル・マクルーハンの言葉は、業態(インフラ・環境)はコンテンツ(事業)を規定するということだ。

古い業態(インフラ)を基礎にしている事業(コンテンツ)は衰退する。船というインフラが沈没しつつあるとき、生存しようとする企業は古い業態から脱出しなければならない。沈みつつある船上での事業の改善ではなく、古い船から脱出し、新しい船・業態の中で、根本的な経営(コンテンツ)の改革が必要となる。

メディアとは、媒体であり、現代においては、先端デジタル技術を取り入れた業態のインフラを指す。

メッセージとは、提供される情報の内容であり、事業の目的、中味、作品を意味する。

それは、新しいメディアの進展に合わせて格納されるメッセージであり、事業の内容である。

その良し悪しが、事業経営のキーとなる。

新しい業態への移行に際して留意すべきは、業態の変化の真偽を的確に把握しているか、否かである。身近な例で言うと、県内景気は、観光の好調により好調だと言われているが、それが全産業に波及するものかの確認が必要である。

観光客数の増加(過去10年で約20%、年平均2%の伸び)、特に外国人観光客数の増加(過去6年間で約400%、年平均50%以上の伸び)は、考えられなかつほどの県内における経済環境のインパクトである。

しかし、この10年間の県民総生産の伸びは年1%程度で、インフレ程度でしかない。これは平均なので、チャンスを逃しているとばかりは言えないが、表面的な変化に目をうばわれる恐れがある。

新しい事態(業態・インフラ)に対応するということは、チャンスを逃さないということである。

先端デジタル技術も、急激な外国人観光客の増加も事業にとっては、一見すれば同じようなインパクトを与える。要は、それを表面的ではなく、確実に理解し、それを事業に取り入れることができるか否かである。事業に取り入れるということは、確実な変化か否かを確かめ、それが確実なものなら、変化に対応した事業の体制(コンテンツ)を確立するための努力が成否の鍵となる。

沖縄は、業態の変化を確実にとらえ、新しいコンテンツの確立ができるだろうか。

20. 知らないことを机上で行動する。

何で? 何で? と後向(←)

横向力は、ビニカル 110-Y2k12 必要の DEA は?

何で? 何で? ←

21. 仕事は前倒し。

22. 十分な睡眠とストレッチ生活

1日6時間

これを不適した状態に保つと睡眠が悪くなる。

23. ストレッチ生活

毎日1時間以上

人間関係は表せられており

手をかいたり自分で自由になれる

24. 一番最初に手を上げる

A/E ロードトローリーの仕事を使わざるを得ないときなど、

"一番最初に手を挙げた人が車両の荷物を取る"

これが人の名前だ!!

(1) 芝生地にあふる生地面積の割率の低下

(2) 利差とす、同じ高を生み出すのに必要な労働の節約

②

ノボル、人件費の節約、削減

(3) 分配率の低下は、① 改善に対する労働の分配率の低下

② といどり、比率と勞働分配率の低い企業、全体の中で大きな工場を
占める工場は、―― 労働分配率の低下傾向

(4) 労働分配率が低い企業は、情報技術の利用の多い企業である

例では、経理職員を複数の部門に会計処理を導入すると――

(5) 転換の入出庫 --- 海外の電話応対担当者、業務委託の個人事業者

(6) 技術者技術の利用で子企業は、人件費を大幅に削減できる

技術者の競争価値が高く、他の企業との市場競争を奪うことによってできる

(7) 情報技術の活用 - 労働分配率の低下

(8) 近年、アリババなど、「電子回路工場、生産率の改善」

(9) 1992年英同名社では、乾隆帝の20%セントの中国への通航
6000kgの荷物を輸出する―― 毎年90台、世界40台、年200台、荷物3000人

現在は大型トラック輸入車両の輸入が主流

物流業界の改革

2018.01.08

(1) 物流施設

ベルトコンベア、フォークリフトに代わり、搬送、倉庫の出入、荷下りの作業を自動化できるロボット…搬送ロボット アマゾン、ニトリ

(2) ピッキング

ロボットが商品棚を運ぶ 一作業員は動かなくともよい
アスクルの横浜センター 一ロボットによるピッキング 画像認識の
技術により(人間の2倍の速度、夜間)
佐々木

(3) IC タグ

アパレルのビームス 一全商品に IC タグを装着

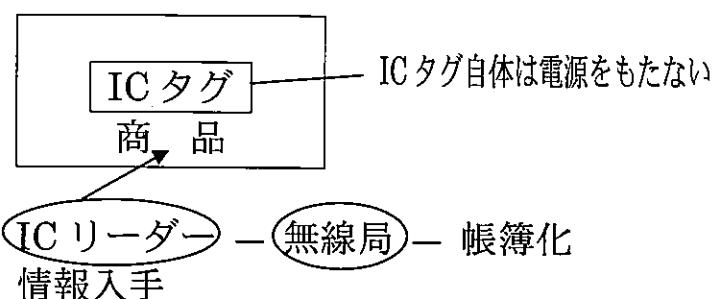
店舗と自社物流センターの商品データに IC タグ
複数タグの一括読み取りにより、端末をかざす
だけで複数商品の会計や検品、在庫管理、棚
卸などを瞬間に行なうことが可能になる
人を増やすずに売上を拡大できる仕組み作り

(4) アマゾン Go 一 センサーの活用

将来のレジの変化

(5) トラックドライバーの減少 一 2006 年全国 90 万人…毎年 1 万人ずつ減少

実世界のオブジェクトを、デジタル
の仮想世界と結び付けて認識や操
作ができるようになるという点が、
社会的に様々な波及効果を与える
と考えられている。





見たことのない未来 (AI 時代の人間)

(10月のごあいさつ)
平成 30 年 10 月 1 日 (月)

21世紀が始まったとき、ドラッカーは、その著「ネクストソサエティ」において、「歴史が見たことのない未来が始まる」と言った。

未来を予測することは、不可能である。しかし、現在の状況と既に起こった未来を手がかりに、未来を考えることには意味がある。今日、物的資源を持たない国は、知識や情報の効率的な利用を重視し、それらを社会の利益のために活用していく必要がある。特に 21 世紀に入って**情報通信技術**が**経済成長**の重大な要素となり、**人間の行動**にも大きな影響を与えることになった。日本のような物的資源の限られた国は、**情報通信技術**を駆使して、知識や高度技術に基づく産業の育成による**企業経営**の高度化や**行政機能**のコンパクトかつ効率化を通じて、市民参加型社会の形成を実現していくことが重要だ。

予測する未来の姿は、顔も目や耳もはっきりしない怪物のようである。それは現在感じている希望と、既に起こった未来によって、その**実像**に近いものを探しあうことになる。例えば、将来の日本国家の姿と内容は、不透明で、柔軟性のない、総合性を欠いた、身動きの取れないような複雑で異様な姿を感じる。このようなものに対して、**目と鼻となる**ものをつけ、その**実像**をはっきりと見て、改善してゆく必要がある。

「歴史の研究」の著書で有名なトインビーは、1929 年満州問題について、“歴史的、運命的な岐路に立っている日本の責任は大きく、**日本の運命**を決定する。それは、ローマと戦ったカルタゴの運命である。日本は、単に中国と戦うのではなく、アメリカやソ連のような 20 世紀の産業的ローマ帝国と戦うのである”と言ったそうである。世界文明の視野に立った**歴史の教訓**がその念頭を去来していたのであろう。

目前に迫った AI の進化と人間の能力との比較である。加算的に発展してきた人間の歴史と指數関数的に発展する AI との調整をどのようにするのか。

西欧が脱キリスト教になったとき、①科学的信仰と②ナショナリズムと③マルクス主義が台頭し、社会を一举に変化させた。同じように、従来の世界を AI が総合的に一変しようとしているように見える。AI の中に、AI とは全く性質の違う総合的な人間性の向上を図る機能を埋め込めることができるであろうか。そうすれば、人はより平等に、より快適に、より豊かに生き続けられると期待するのであるが、それは**無理な願望**であろうか。日本も世界も、**新しい時代**のすぐ前に立っているような気がする。

V. 人工知能

人類最悪にして最後の発明

ジェイムス・バラット 水谷淳訳 ダイヤモンド社 2015

1. 未来の姿

明	暗
カールツワイル(SF)	ジェームスハラット(ロボット)
ブルックス(発明家)	マーティンフォード (AIに打ち負かされる)
	ドキュメンタリーフィルム

未来、人々の生活を左右する重要な決定は、すべて機械か、機械によって知能を強化された人間の手で下されるようになる。

すでに、金融システム、エネルギー、水、輸送といった公共インフラは、コンピューターによって支えられている。

コンピューターが労働を節約し、娯楽をもたらしてくれると人々はコンピューターへ依存するようになる。

しかし、人口知能は、コンピューターに命を与え、別物へ変えてしまう。あまりにも不安定で謎めいており、自然が一度しか完成させなかつたパワー、それが知能なのだ。

第四次産業革命（インダストリー4.0）

スマート宅は、インターネットに繋がり、これにて生じる新たな産業構造の変化を第四次産業革命という。

人間の能の精度を上げ、人間が機械を出さずとも、コンピューターの自己制御にて最適な行動をとる社会、例えばVRや会議ソフト化技術による遠隔操作。

(第　回) FTPL、MMT、デフレ

2019.09.02
2019.08.24

物価水準の財政理論
FTPL

プリンストン大学シムズ教授
(ノーベル経済学賞受賞者)

もし、その国の国債の債権者のほとんどがその國の者であるならば、財政赤字を一種の規律をもって無視し続けたなら、①物価は緩やかに上昇(インフレーション)し、それが常態化することで②財政赤字は実質目減りする。これは国債償還による財政再建よりはるかに効率的である、とするものである。

これは、将来に向って財政再建を放棄することによって、現在のインフレ率を高めることが目的とされている。

その基本は、名目国債残高を現在の物価で割った値が、将来にわたる実質財政余剰の現在価値の期待値に等しいという関係式である。

水準
名目国債残高/今期の物価 = 実質財政余剰の現在価値の期待値

ここで、財政余剰とは、「政府収入 - 政府支出 - 支払利子」であり、基礎的財政支出に近いものだ。

P/L的に言えば、経常利益と営業利益の差のようだ。

邓小平、

邓小平同志の批評書

中国を理解するための必読書 ケビン・エスコット著

◎従来のマクロ経済モデルでは、政府債務(国債)がモデルに取り込まれていなかった。

この式において、

- (1) 右辺の財政余剰が減少すると
- (2) 左辺も減少することになる。ところが
- (3) 国債残高は所与なので
- (4) 物価が上昇することになる。

即ちデフレの解消へ向かう力が生じる。
インフレ基調となり、

日本の場合、右辺の財政余剰がマイナスであり、物価の上昇にブレーキがかからなくなることも考えられる。

しかし、日本の財政余剰がプラスになることは考えられない。

また、左辺の国債残高を減らすと物価水準を下げねばならず、現在の日本のデフレにおいては適切な処理とは言えないのではなかろうか。国債残高を上げ(財政支出等を行ない)、財成余剰の現在価値を上げざるを得ない? ミニマムな?

筆記。

シムズ教授の提言は、物価と財政再建の双方に密接に関連するものであり、わが国において、いまだインフレ目標が達成されないことに加えて、高齢化に伴う社会保障費支出の増大により公的債務が累積している状況において、議論すべき重要事項に対するものである。

竹中平蔵氏 201812 NHK

- 21世紀のオリンピックまでは景気は良くなり続けるという神話
—その神話は、2019年から大きな変化が起きる
 - 私は、消費増税には反対である。政府も、経済界も主要メディアも誤っている。
—財政再建はやらねばならないが、その順序は、(1)景気回復→(2)デフレ克服→(3)増税である。(4)増税を先にすると不況に陥り、経済全体が縮小してしまう。増税の前に行うべきことは、改革減税である。
 - 軽減税率は、高額な住宅や車、などの耐久消費財の割高感を与える。
—前回の消費増税で耐久消費財の落込みが大きく景気の足を引っ張った。
 - 人手不足 — 人材の獲得競争での遅れ、人手不足の原因
— 30年間の各国の人口動向

	中國	米国	英國	日本
1989	11.3億	2.5億	0.6億	1.2億
2016	12.8	3.2	0.7	1.2
増加率	22%	31%	15%	3%

外国人の受入を要望するのは遅すぎた

 - AI、ロボットへの労働の置換
—産業という分類の不適切さ トヨタ、パナソニックのライバル→ アーティ
 - 米中摩擦、世界経済の成長率は約1%下がる
—米中対立の2つの原因 (1)トランプという人が大統領になった
米国社会の分断
(2)技術霸権をめぐる争い
 - 2025年 後期高齢者に全ての団塊世代
—これに対する制度改革はできるか



デフレ・FTPL・MMT (デフレ脱却に向けて)

(8月のごあいさつ)
2019年9月1日(日)

アベノミクスは、デフレ脱却の**物価上昇目標**2%を目指したが、未だ道半ばである。2%という物価の上昇を行おうとすれば、第一に必要なことは消費の拡大である。従って、**消費税の引き上げ**は、逆に消費にブレーキをかけ、**デフレ脱却の反対方向の施策**である。

1990年代後半以降、日本において顕在化した**デフレーション**について考えるとき、1930年代の大恐慌の教訓が想起される。そのとき救世主となつたのはケインズの**有効需要の原理**であった。日本経済が、1990年代後半以降、陥ってきた「**流動性の罠**」とは、利子率が下限にあることを誰もが知つており、この下においては、**金融政策の効果**は発揮されなかつた。

FTPL(物価水準の財政理論 Fiscal Theory of the Price Level)の基本は、名目国債残高を、現在の物価水準で割った値が、将来にわたる実質財政余剰の現在価値の期待値に等しいという式で表される。

名目国債残高／現在の物価水準＝実質財政余剰の現在価値

増税の延期によって、右辺の財政余剰が減少すると、左辺も減少しなければならない。ところで名目国債残高は所与なので、物価が上昇することになり、**デフレ解消へ向かう力**が生じる。このことがシムス教授などが話された、先ず、日本の2%のインフレを達成後に消費増税を行うべきだという考えになるのではないか。

MMT(現代貨幣論 Modern Monetary Theory)は、通貨発行権を持つ国家は、債務返済に充てる**貨幣を自在に発行**できるため、財政赤字で国は破綻しないと説く。完全雇用と物価安定を達成するには**金融政策**ではなく、**財政政策**への依存度を高める必要がある。インフラや教育、研究開発に**投資**して、国の**長期的な潜在成長率**を高めるべきであるとする。理論の構築や経済の多様性の配慮の違いはあるが、消費増税のマイナス効果や誤った**財政政策**という意味では、上記のFTPLと同じ面を感じる。

日本の**デフレ解消の政策**は的はずれで政策に根本的な誤りがあつたのか？**デフレ**とは**需要不足**であり、その真因は、将来の不安(経済不調、少子高齢化、天災….)に対し、国民の消費や設備投資に消極的な負の需要ショックに真因がある。経済の活性化、効率化へ向けた強力な政策とともに、国民の意識を変えるような**前向きの明るさ**、**意識の変革**が国、個人とも必要ではないか。これは、**沖縄経済における生産性**(アウトプットの貧弱とインプットの非効率さ)を前向きに改善すべき**活性化、効率化の必要性**にも似ている感じがする。

第87回勉強会 (2019年8月28日)

金融と財政の曖昧な政策割当

講 師 上智大学経済学部経済学科 教授 竹田陽介氏
紹介者 元日銀那覇支店長 水口毅氏 (参加者 29名)

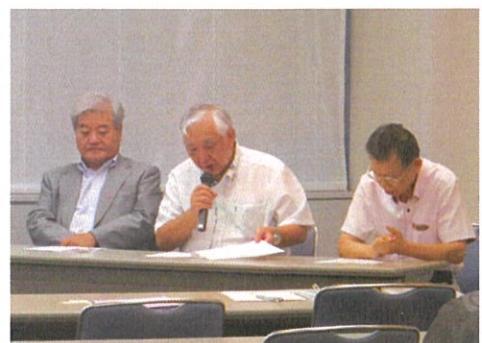
「昨今もて囁かれる MMT (Modern Monetary Theory、現代貨幣理論) の流行に見られるように、伝統的な金融政策は無力化し、財政規律の籠は緩み解ける現状がある。財政当局と中央銀行が統合された政府の予算制約の下で、金融政策と財政政策の各政策に割り当てられる目標および手段が、曖昧になっている。両政策を繋ぎ、それらの整合性を図る国債管理の役割が、益々増大しつつある。

本講演では、財政金融政策に対する伝統的な経済学の考え方を振り返り、現在直面する問題点を指摘する。さらに、求められる新しい見方の萌芽について議論したい。具体的には、中央銀行の独立性、国債管理、マイナス金利政策、金融政策の正常化、財政赤字の政治経済学などについて触れる」、とのことで充実したレジュメを作成していただきご講演をしていただいた。

最初に、危機時において、「金融政策と気候変動の問題は似ている」との国際協調の必要性の話、アルゴアの気候変動の重要性に対し、人類共有の問題として協調が必要であるが、トランプの言動は驚くべきものがある。金融政策については、リーマン以後の金融危機時の国際通貨制度の安定性の回復は、各国の通貨切下げ競争など協調性を欠いている面もあり、加えてトランプのアメリカ第一主義が影を落としている。

現在の経済停滞について、「高圧経済？」が必要かもしれない点を、1970年～2000年代のWage inflation の米国と日本のフィリップス曲線の対比で、日本の2000年代の金利がゼロのレベルではりついている状況に対し、中央銀行の非伝統的金融政策として、目的を、(a)インフレ期待に働きかける、(b)金融機関のリスクテイクを促す、また、手段としては(1)マイナス金利、(2)バランスシートの拡大、(3)長期国債の購入であった。ところが、これに対するデフレ脱却の効果は見られず、これはどういうことなのかの質問があった。これに対して先生のご意見は、MMTによる財政支出の拡大は議論の余地があり、これらの手段等以外のイノベーション等による違った観点からの施策が必要でないか、それは3つの手段に加えて、向上、活性化に向けた、明るさ、前向きの改革への意識ではないかとのご指摘があった。これは意識の変化が具体的な施策に及ぼすプラスの効果の示唆とも感じた。

先生の著書、「非伝統的金融政策の経済分析」(2013年日本経済新聞社、第54回エコノミスト賞受賞)は、1999年2月の日本銀行によるゼロ金利政策の導入以来、世界の中央銀行は、従来行われてきた金融政策の枠を超えた非伝統的な金融政策の発動を余儀なくされている。この10年余の金融政策における効力について論ぜられたもので、タイミングの良い実証的な経済分析であった。この非伝統的金融政策を、人口減少や自然災害などのマクロショックに直面する現代の中央銀行の課題に対する壮大な社会実験との観点から論ぜられ、興味深いものがあった。更に先生は、この続編とも言うべき、更にこの6年間の分析書も計画しておられると言った。



II 幕末の経営改革

1. 渋沢栄一、由利公正、ドラッカーによる企業活性化

渋沢栄一

- (1) 太政官札（新通貨）による殖産興業（有効な活用）
- (2) 太政官札を幕臣の正確困窮に充てない
- (3) 商会設立（幕臣の失業を救う方法）
- (4) 武士道→商人道→論語
- (5) 大名家の商社化と武士の商人化
- (6) 合本（株式）とバンク（銀行）の日本への導入
- (7) 合本による企業経営と社会事業の推進

由利公正

- (1) 幕末、越前藩における藩札の発行
- (2) 越前藩屋敷・物産総会所（越前藩商事会社）の開設（藩富の蓄積）
- (3) 藩札を基金に藩内の生産物の振興
- (4) 藩札の貸付（金融）とは借入者に付加価値を付ける、金融とは付加価値を付ける仕事
- (5) 明治政府における太政官札の発行
 (以上、渋沢栄一 論語と算盤等から)

ドラッカー

- (1) 企業活性化の原理
- (2) 成果をあげる意思決定（成果とは何か）
- (3) マネジメントの役割
- (4) イノベーション
 (那覇商工会議所 ドラッカーに学ぶこれからの経営から)

2. 幕府経済体制の行き詰まり

- (1) 石高収入とそれに応じた支出（拡大のない消費経済）
- (2) 商工業の発達と消費の多様化

3. 薩摩藩（調所笑左衛門）

- (1) 島津 77 万石 文政 12 年（1829 年）に 500 万両の累積債務
破産状態、金利 12%／年 60 万両
藩の経常収入 18 万両 *経常収入の 28 倍の借金*
- (2) 当時の人口 77 万人、うち武士階級 20 万人（26%）（全国平均は 5%）
- (3) 島津重豪（1744-1833）の政治
- (4) 参勤交代の費用が出ない
- (5) 調所笑左衛門（1776～1848 年）の改革（1832～1848 年）
 - ①全ての借金を 250 ヶ年賦、無利子とする
 - ②古い証文の書替え
 - ③国許の借金は貸金に応じて身分を与える
 - ④藩主斉興の別邸の活用
 - ⑤沖縄方面での貿易（唐物貿易）品を大阪で販売
 - ⑥黒糖（大島、徳之島、鬼界島で生産）、蠟燭、菜種油の増産と江戸での販売
 - ⑦重豪、斉宣、斉興、斉彬に仕える
 - ⑧藩債証文を取り戻し、弘化年間（1844～1847 年）には藩の蔵には 200 万両が積まれた。

4. 長州藩（村田清風）

- (1) 長州 30 万石 天保 11 年（1840 年）8.5 万貫（170 万両）の累積債務、藩の経常収入の 22 倍
金利 12% 1 年 20 万両、経常収入 7.7 万両
- (2) 天保の大一揆など度重なる大一揆
 - ① 産物会所による農民からの搾取に反発
 - ② 藩の商人化の行きすぎ
- (3) 村田清風の改革
 - ① 天保の改革、原因は政治のあり方が間違っている、人材の不登用
藩の 170 万両の借金は、37 年賦据置で、毎年金利は支払う
 - ② 武士の借入のすべてを、元利を年 30 分の 1 で 37 ヶ年賦（完済）で藩が引受ける
 - ③ 武士の借金は、藩が引受け商人に対して元金 37 年間の据置（1880 年、明治 13 年）、その間は金利を支払う
 - ④ 藩の専売制をゆるめるが、蠅、米、紙の三白は藩の専売制とする
 - ⑤ 村田に代った坪井は、1,000 両で藩産物を買上げ、800 両で他国に売れば 200 両の損と考えずに、藩内に 1,800 両の潤があったと考えよと言った
 - ⑥ 他国への藩産物販売と仕入
 - ⑦ 村田の後、坪井、周布と引継ぐ
 - ⑧ 倒幕資金の準備が出来る

（1～4 渋沢栄一 論語と算盤、TBS ブリタニカ刊 童門冬二著 幕末日本の経済革命、光文社刊 邦光史郎著 江戸幕末大不況の謎）

経済学 ③

2019.08.24

現代貨幣理論 (MMT)

Modern Monetary theory

1. 自国通貨建の国債は破綻しない
2. 政府の負債は国民の資産
3. 銀行は貸出によってお金を作ることができる
4. お金は物ではなくて情報(経済力に裏付けされた)
5. 日銀は、2013年から6年間で400兆円の国債を買取り、2016年には金利の引き下げも行ったが2%の物価上昇は達成できなかった。
6. 一旦、インフレ傾向になりかけたが、2014年の消費増税でまた下がった。
7. MMT modern monetary theory
8. インフレの原因を明確にして、それに対応できれば問題はない。
インフレく所得増加ならOK

日本がインフレ対策をしないのは何故か？

- (1) 政府債務が过大であるからか
- (2) 在庫需要拡大 ① ② ③
- "財政支出の拡大" "
- "減税" "
- (3) 重付、財政支出を止めよう。



だからMMTの概念が必要ない事実

FYPL

9. MTT

(1) 自己通貨を持つ政府は、財政的な予算制約に直面することはない

— 国債をいくらでも発行できるし、それによって破綻することはない

(2) 全ての経済及び政府は、生産と需要について物あるいは環境的な限界がある

— 急激なインフレにならない限りは限界はない

(3) 政府の赤字は、他の経済主体の黒字である

— 政府の借金や支出は、国民の財産や収入となる

連結 B/S			
資 产	负 債		
0	0		紙幣を発行して返済する必要もない

(4) 連 結

政府の B/S		日銀の B/S	
負 債	資 产	負 債	
国債 1,000 兆円	国債 1,000 兆円	民間銀行からの債務 1,000 兆円 (国債の買取分)	

日本政府は、この返済能力に根拠はない!!
理由は、借入の返済には常に追従を発行している日本政府が、

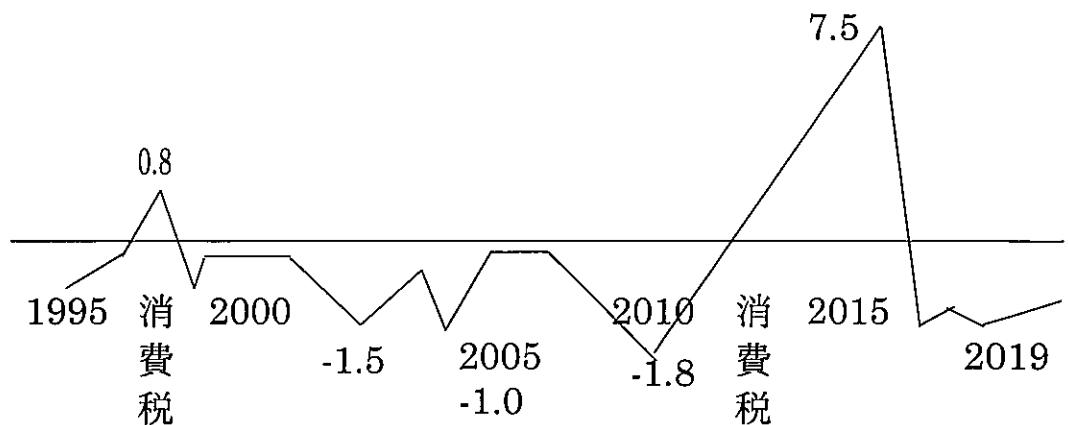
政府の財政赤字は、これが同様の民間部門の貯蓄を生み出す。

政府の財政赤字は、民間部門の貯蓄によって 術次されて
いるわけだ。

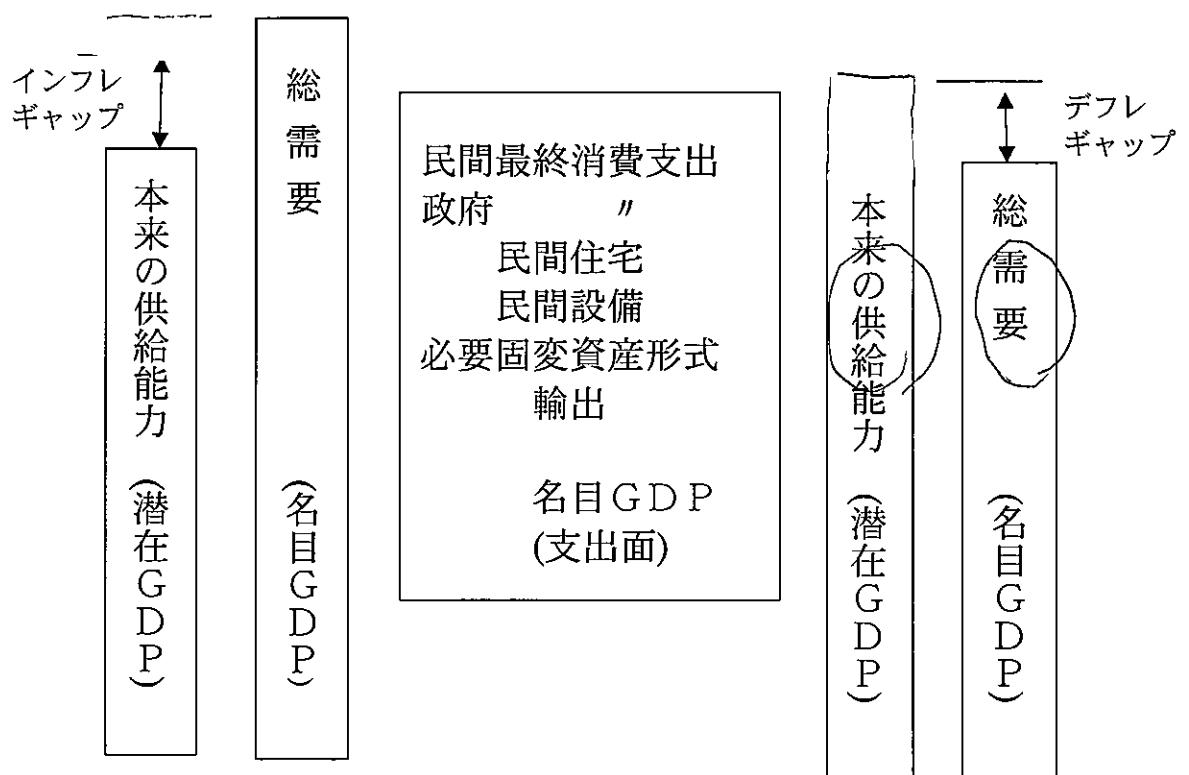
信用貨幣論によれば、

資金量の制約はないが、借り手の返済能力という制約はある

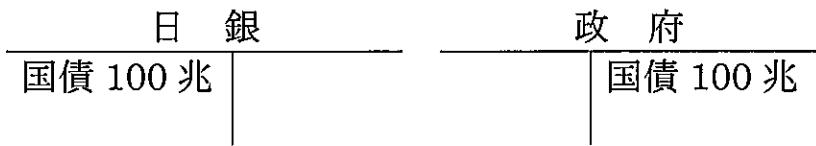
(5) GDP デフレータの一対前年比推移



(6) インフレギャップ・デフレキャップ



1、国債とは



- (1) 連結すれば消去される
- (2) 通貨発行権は、両方にある
- ③通貨と実物のバランス

2、国債の使途

国債発行 100 兆		
(1) 公共事業投資	100 兆	
景気の活性化		
(2) 社会福祉費	100 兆	" 100 兆
今後も増加		

3、税収が遞減、社会福祉費が递増の中で

①このときどんな
問題が起きるか

社会福祉費
価値の増加はない



②日本が、過去の日本、後進国の経済(飢餓状態を脱し各国が伸び続ける計画)なら
どんなことが起きるか

潜在成長率を高めるよ
うな公共投資は可能か

破綻しない政府であれば、債務を完済する必要はない。

口債は「将来世代のツケ」いう批判は、「口債の償還の財源は、
将来世代の税金でやむを得ない」などと、
反対に主張。彼は財源確保の手段ではない。

(ほとんどの先進国において、口債とは後退途を辿れない)

現代貨幣理論の基礎

1. 自国通貨を持つ政府に財政的な予算制約はない
ヒスピニック系の元バーデンダーオカシオコル特斯
ニューヨーク州連邦下院選
2. グリーンニューディール
3. 日本など自国通貨を発行する国は、国家財政に、財源という制約がない、ということは、課税によって財源を確保する必要はない。
4. 潜在成長率を高めるように財政投資ができるか？

デフレ下の日本で必要なのは、

投資促進税や減税といった手段によって、返済を活性化し、
物価を上げることである。

浜田先生

(参考)

デフレはもっぱら貨幣的現象 —

金融政策という枠内で経済を治すと見ていく

例え、オートマツの貨幣数量説は、物価を左右するのは、
もっぱら貨幣数量である

(ケインズの考え方)

貨幣数量説という粗末な経済理論は、一

長い間を貢献して来たもの

単なる銀行要因のひとつにすぎない貨幣量を

老朽化原因である支出も強調するべきである

本質的なデフレ対策

何故、物価が変動するのか
物及びサービスに対する「需要」と「供給」のバランスが崩れているから

コア CPI consumer price index

消費者物価指数

小売物価統計調査と家計調査

1997年、2014年に消費税の影響で跳ね上がった

その後下がり、デフレ脱却ができていないことを示している

GDP デフレーター

GDP 算出時に、物価変動の影響を取り除くために用いる

名目 GDP

実質 GDP

消費増税による強制的な物価上昇で、名目 GDP が拡大し、さらに消費増税のインパクトで実質的な生産活動が鈍れば、プラス化する

何故デフレ対策が充々てつかなかったか
→ 需要在上回る供給の弱体化

(1) 供給力を高めるインフレ対策の目立つ

- ① 生産性向上
- ② 競争力の強化
- ③ 国際競争力の強化
- ④ 消費増税

(2) 一般均衡論

供給大于需要を生じ、しかし実際は 供給 > 需要

(3) 一般均衡論では

政府が、財政支出を減らして、需要を削減すればいいことは
不必要となる

$$\text{GDP} = \text{生産} - \text{所得} - \text{支出} \quad \text{が一致}$$

生産 販売し所得 支出する
 を得る

貨幣は負債の一形式

貨幣とは、利払いや返済義務が生じない特殊な形式の負債である

MMT(現代貨幣論)の目指すものは、政府支出を増やすことによって、所得と雇用を増やす

有効需要拡大型 大型物価上昇である



このためには、民間企業の供給総力をUPできなければならない



それが、デフレ脱却、これが目的

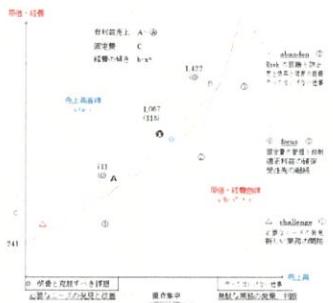
量的緩和では、貨幣供給量は増えない。

貨幣供給量を増やすのは、借り手の資金需要(=銀行預金)
 때문이다。

財政政策の目は、

「財政の健全化」ではなくて、デフレ脱却なり、「経済の健全化」
である。

デフレ脱却は、人件費抑制が必要である。



指標・対数

2019.01.21

2018.10.15

2018.08.13

2018.06.10

2018.04.16

2018.01.07

2017.10.10

2017.07.10

2017.04.23

会計と経営のプラッシュアップ

2019.07.28

山内公認会計士事務所

2019.09.17

次の図書を参考にさせていただきました。

(ゼロからわかる指数・対数 2007.12 深川和久著 ベレ出版刊) (指数のはじめ上、下)
 (図解雑学指数・対数 2013.5 佐藤敏明著 ナツメ社刊) 2012.5 大村平蔵 日科扶連刊)

I. 指 数

1. 指数とは、いくつかけ算されているかということ

つまり、大きな数、 $2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2$ を 2^5 と書き、2 の 5 乗という累乗のこと。

大きな数を表すことに適している。

(1) 世の中は、かけ算的(指数的、曲線、複利) に従う傾向にあり、人はそれを足し算的(直線) に理解しようとする傾向がある。

(例) かけ算、指数

国や経済の伸び — 対前年比〇%

預金やローンの利息 — 金利の計算

指数とは — かけ算のくり返し

社会は複雑であっても 大きなかけ算に理解しない

---「何倍くらい」

A.I. テクノロジー、将来

従って世の中は指数的に変化する傾向にある (激しい変化の世界)

しかし、人は足し算的にものを見ようとする (静かな変化の世界)

世の中はかけ算的・指数的(変化・変動)であるのに、人は足し算的(静止的固定的)に勘違いしている。この面において世の中は複雑である。

(大量)

そして、この指数の逆が対数(単純化)である。

対数は複雑なものを単純にしようとする。

そして人の五感はことごとく対数的である。しかし、現実は指数的である。

人の記憶や歴史も対数と深く関係している。だから、過去は対数的

歴史上の出来事は、1年を1とすると、10年は2、100年は3、1000年は4・・・という並び方になるかもしれない。(記憶の量)

過去は今よりもさらにスピードで報告され後退している。過去は木のまねである。
 (以前も、最近も)

過去は今からみるはなし

戦後の歴史

S20
(1945)

終戦
財閥解体
(4. 疎開)

過去は

振り返ると~~時代が古いから~~（時代は時代が古いから）

S25
(1950)

朝鮮特需
第1回ブーム
(9. 小学)

S30
(1955)

TV
もはや戦後ではない
(13. 中学)

その当時

S35
(1960)

所得倍増計画
東京タワー
(18. 高卒)

S40
(1965) 547

東京オリンピック 本工後帰
東京スカイツリー 沖縄で
(23. 社会) (30. 会計)

2. 指数の法則

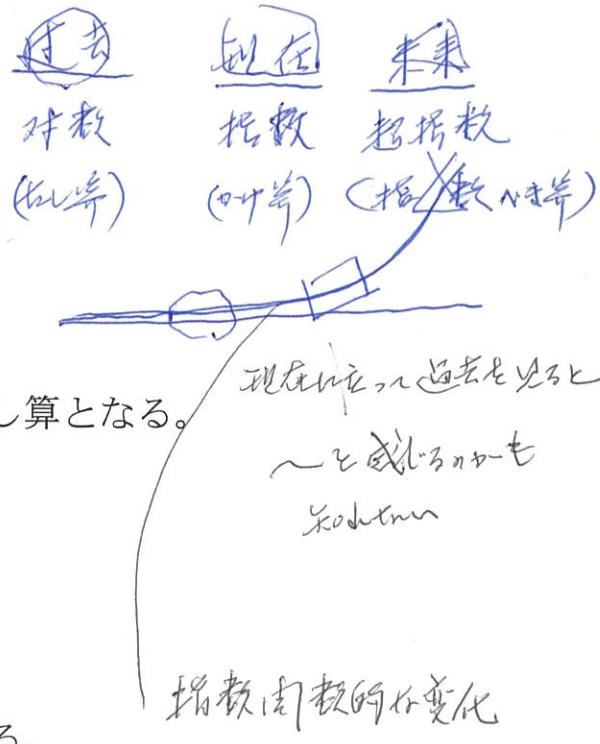
(1)かけ算がたし算に変わる

$$10^2 \times 10^3 = 10 \times 10 \times 10 \times 10 \times 10 = 10^{2+3} = 10^5$$

$$10^8 \times 10^4 = 1\text{億} \times 1\text{万} = 1\text{兆}$$

$$= 10^{8+4} = 10^{12}$$

指数のかけ算は、底が同じならば指数のたし算となる。



(2)累乗はかけ算に変わる

$$(2^3)^4 = 2^3 \times 2^3 \times 2^3 \times 2^3 = 2^{3+3+3+3}$$

$$= 2^{3 \times 4}$$

2の3乗の4乗は、2の3×4乗となる。

つまり、指数の指数は、指数のかけ算になる。

(3)

指 数 法 则

$$a^{-n} = \frac{1}{a^n}$$

$$a^n a^m = a^{n+m}$$

$$\frac{a^m}{a^n} = a^{m-n}$$

$$(a^n)^m = (a^m)^n = a^{nm}$$

$$a^{\frac{1}{n}} = \sqrt[n]{a}$$

$$a^{\frac{m}{n}} = \sqrt[n]{a^m} = (\sqrt[n]{a})^m$$

$$a^0 = 1$$

ただし $a, m, n > 0$

PROGRAM MANUAL

X

PROGRAM NAME	PROGRAM NO.	PROGRAMMER
連続複利による現金はたえ	= 2,718----	

処理図

処理手順

1万円を年利100% の複利で積み立てる

$$1 \times (1 + 1)^t = 2.00$$

半年毎に1回利息を元金に組み入れると、

半年の金利は $\frac{1}{2} (50\%)$ となる。

$$1 \times \left(1 + \frac{1}{2}\right)^2 = 2.25$$

毎月たまご

$$\left(1 + \frac{1}{12}\right)^{12} = 2.613 \dots$$

毎日たまご

$$\left(1 + \frac{1}{365}\right)^{365} = 2.714 \dots$$

1年12,1000回利息を元金に入れる

$$\left(1 + \frac{1}{1200}\right)^{1200} = 2.718 \dots$$

結果、回数を無限に増やして

$$y = \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x = 2.71828 \dots$$

処理条件

1万円を、年利率 0.05 で積み立てる。n回の複利で、元利合計を計算する

$$1 \times \left(1 + \frac{0.05}{n}\right)^n = \left(1 + \frac{1}{\frac{n}{0.05}}\right)^{\frac{n}{0.05} \times 0.05}$$

$$\text{元利合計} = 1 \times \left(1 + \frac{0.05}{n}\right)^{n \times 2} \rightarrow e^{0.05 \times 2}$$

連続複利
複利対等

1年たまご

365回複利

1年

1.057267

1.1025

1.051071

1.1052

1年たまご

$$\left(1 + \frac{0.05}{n}\right)^{nxt} \rightarrow e^{0.05xt}$$

$$A \cdot \left(1 + 0.05\right)^{nxt}$$

$$A \cdot e^{0.05xt}$$

DATE

対数と底の数字

No. 1-2
DATE

$$2^{\boxed{m}} = 8$$

$$\log_2 8 = \boxed{}$$

2を何乗すると8になる
2をN-2とした8の対数は m

$$\log_2 8 = 3$$

底 N-2 对数

2をN-2とした8の対数は 3 =

2倍になると1増える

$$\log_2 16 = 4$$

10のN-2の対数

$$\log_{10} 10 = 1$$

$$\log_{10} 100 = 2$$

--- 10億倍2億倍など

$$\log_{10} 10^{10} = 9$$

対数は大きさを数を表すのに
すごく便利なもの

対数は人間の感覚に合っている

2^n = 4^n + 1は地震のゆくと 10倍になると1段えり

10^n = 4^n + 4と 7^n + 1は 1,000倍という感じ
の違い

対数関数・指數関数の微分

参考 (Excelで学ぶ微分導入 山本将史著 HAKUO社)

1. 対数関数の微分

$$(1) x = a^y \leftrightarrow y = \log_a x$$

$$8 = 2^3 \quad \rightarrow \quad 3 = \log_2 8$$

$$(2) 底 a の場合 (y = \log_a x)$$

$$y = \log_a x \rightarrow y' = \frac{1}{x \log_e a} \quad (a > 0, a \neq 1)$$

$$a^y = x$$

$$(3) 自然対数の底 e の場合 (y = \log_e x = \ln x)$$

$$y = \log_e x = \ln x \rightarrow y' = \frac{1}{x}$$

$$y' = \frac{1}{x \log_e e} = \frac{1}{x}$$

$$(4) \log_c b = \frac{\log_e b}{\log_e c}$$

2. 指数函数の微分

$$(1) y = a^x \quad (1)$$

$$\leftrightarrow x = \log_a y$$

(1)

两边を取る $y = a^x \rightarrow (y' = a^x \log a) = a^x \ln a$

底をeの場合 $y = e^x \rightarrow y' = e^x$

(1'')

(1) 両辺の自然対数をとると

$$\log y$$

$$= x \log a$$

左辺を微分

(2) 左辺を微分、
右辺を微分する

$$(2) \text{右辺} (x \log a)' = \log a$$

左辺を微分

$$\log y = u \text{ とおき}$$

$$(1) \text{右辺} \cdot \frac{y'}{y} = \log a$$

$$\frac{du}{dx} = \frac{du}{dy} \cdot \frac{dy}{dx} = \frac{1}{y} \cdot y'$$

$$\frac{y'}{y} = \log a$$

$$=\frac{y'}{y}$$

$$\frac{y'}{y}$$

$$(1) \text{左辺 } y = a^x$$

$$(1)' \quad y' = a^x \log a$$

指數函数の微分

まとめ

$$(2) (a^x)' = a^x \log a$$

$$y = e^{x \log a}, y' = y \log a = e^x \log a = e^x \cdot 1 = e^x$$

$$(2)'' \quad y' = e^x \cdot 1 \log a$$

指数関数 $y = a^x$ の微分公式の証明

任意の $a > 0$ に対し $y = a^x$ の導関数は $y' = a^x \log a$ である

(仮定)

$$x+h \cdot y' = \log a \cdot x \cdot a^x$$

一般の指数関数 a^x 、級数の指数関数 e^x の導関数を証明する

(1) 定義から証明する

$$\begin{aligned} a^x \text{ の導関数は } & \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^{x+h} - a^x}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} a^x (a^h - 1) \\ & = a^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{a^h - 1}{h} \end{aligned}$$

$$\therefore \exists \varepsilon, \exists h = e^{\log a \varepsilon} \text{ 使得する} \quad \text{上式は}$$

$$a^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^{\log a h} - 1}{\log a h} \cdot \frac{\log a h}{h} = a^x \cdot 1 \cdot \log a$$

$$\left(\text{SNT } \lim_{t \rightarrow 0} \frac{e^t - 1}{t} = 1 \quad \frac{e^{\log a h} - 1}{\log a h} = 1 \right)$$

$$\log \frac{\log a h}{h} = \frac{h \log a}{h} = \log a$$

(2) 対数微分法による証明

$$y = a^x \text{ の対数を取る} : \log y = x \log a$$

$$\text{両側微分} : \frac{y'}{y} = \log a \Rightarrow y' = y \log a$$

$$\therefore y' = y \log a = a^x \log a = \log a \cdot a^x$$

指數函数の導函数

指數函数 $y = a^x$ を微分する.

$$y = a^x \text{ は, } x = \log_a y \text{ とおき}$$

すると $\log_a x$ は、 $\log_a()$ と y の合成函数だから.

両側を $x = \log_a y$ で

$$1 = \frac{1}{y \log a} \cdot y' \rightarrow y' = y \log a = a^x \log a$$

$$(a^x)' = a^x \log a \quad (\ell^x)' = \ell^x$$

$$y = 2^x \rightarrow y' = 2^x \log 2$$

$$y = 3^{2x+1} \rightarrow \text{左端と } y' \in 2x+1 \text{ の合成函数だから}$$

$$y' = 3^{2x+1} \cdot (2x+1)' = 2 \cdot 3^{2x+1}$$

$$y = \ell^{-x^2} \rightarrow \text{左端は } \ell^c \text{ と } -x^2 \text{ の合成函数だから}$$

$$y' = \ell(-x^2) \cdot (-x^2)' = -2x \cdot \ell^{-x^2}$$

よく使う

$$y = e^{kx} \text{ の導関数 } y' \text{ は}$$

$$y = e^z, z = kx \text{ とおこう} \quad y' = (e^z)' = e^z$$

$$y' = \frac{dy}{dx} = \frac{dz}{dx} \times \frac{d}{dz} = e^{kx} \times k$$

$$y' = (e^{kx})' = k e^{kx}$$

$$\text{たとえば, } (e^{5x})' = 5e^{5x}$$

$$y = 3^x \text{ の導関数}$$

3を底にした対数で表せば。 $3 = e^{\log_e 3}$ だから。

これを用いて 3^x は e をもとにした対数関数で表わせる。

$$y = 3^x = (e^{\log_e 3})^x = e^{(\log_e 3)x}$$

$\log_e 3$ は定数 1.098 なので、

$$y' = (\log_e 3) \cdot e^{(\log_e 3)x} = (\log_e 3) \times 3^x$$

同様に、 $y = 10^x$ の導関数は

$$y' = \log_{10} 10 \times 10^x \quad (a^x)' = (\log_a a) \times a^x$$

$$\text{たとえば } (5^x)' = (\log_e 5) \times 5^x$$

類似と相違

output 大 > input 小

DATE

マーケティング
販売会計

管理会計

コスト削減による利益創出、CPA分析

販売量の増加によって挙げてほしい
製品別貢献計算

いかにして多くの商品を販売するか

販売量の増加のため ---

コスト-収入-費用、費用のサブセグメント

マーケティング、マーケティング分析、2024-2025

販売量の増加のため ---

管理会計

マーケティング

売上高

コスト削減

販売量 増加

売上原価

価格セグメント

販売量 増加

製品別貢献計算

販売量 增加

販売量

広告費削減用率

新規顧客開拓

予算管理方法

販売量 增加

マーケット

マーケット評価

新規顧客開拓

価格

機会損失

マーケティング

35

3つの基本公式

$$(1) \log_a MN = \log_a M + \log_a N$$

かけ算 MN が
たし算 $\log_a M + \log_a N$ に



$$\begin{aligned} \log_a M &= p & \log_a N &= q \\ \downarrow & & \downarrow & \\ M &= a^p & N &= a^q \\ \downarrow & & \downarrow & \\ MN &= a^p \times a^q = a^{p+q} & & \\ \downarrow & & & \\ \log_a MN &= p + q & & \\ \downarrow & & & \\ \log_a MN &= \log_a M + \log_a N & & \end{aligned}$$

$$(2) \log_a \frac{M}{N} = \log_a M - \log_a N$$

わり算 $\frac{M}{N}$ が
ひき算 $\log_a M - \log_a N$ に



$$\begin{aligned} \log_a M &= p & \log_a N &= q \\ \downarrow & & \downarrow & \\ M &= a^p & N &= a^q \\ \downarrow & & \downarrow & \\ \frac{M}{N} &= \frac{a^p}{a^q} = a^{p-q} & & \\ \downarrow & & & \\ \log_a \frac{M}{N} &= p - q & & \\ \downarrow & & & \\ \log_a \frac{M}{N} &= \log_a M - \log_a N & & \end{aligned}$$

$$(3) \log_a M^k = k \log_a M$$

M の k 乗が
 $\log_a M$ の k 倍に



$$\begin{aligned} \log_a M &= p \\ \downarrow & \\ M &= a^p \\ \downarrow & \\ M^k &= (a^p)^k = a^{p \times k} \\ \downarrow & \\ \log_a M^k &= kp \\ \downarrow & \\ \log_a M^k &= k \log_a M \end{aligned}$$

⑤ 沖縄タイムスアカデミア

2019.08.07
2019.04.16
平 良 尚 也

勃興するアジア市場、
デジタル＆モバイル時代に求められる人材の思考習慣

- ① モバイルペイメントが開いた未来「深圳」の現場から
高須正和、朱胤盛(2019.4.6)

- ② 企業の命運を決めるマーケティング
朱胤盛、前田万里子(2019.5.14)

- ③ スポーツビジネス
田崎健太、大野倫、石毛宏典(2019.6.12)

- ④ コンテンツの正しい理解
朱胤盛(2019.7.11)

- ⑤ ブロックチェーン
Philip. Son、朱胤盛(2019.8.7)

- ⑥ 勃興するアジア市場、モバイルデジタル時代に人材の思考習慣
糸数剛一、福井康夫(2019.9.10)

②企業の命運を決めるマーケティング (アマゾンの物流)

2019.05.14 Y
朱胤盛、前田万里子

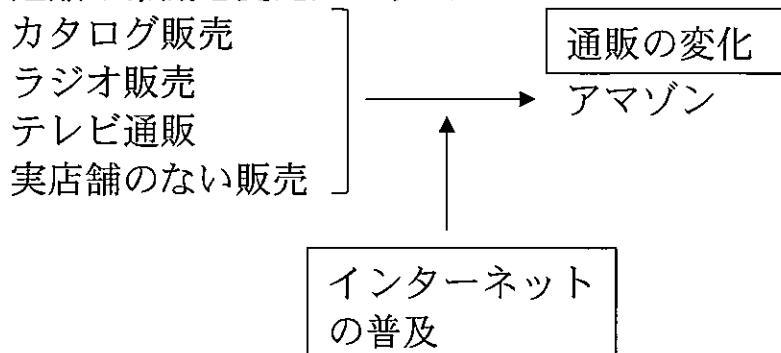
1. アマゾンの物流

何故アマゾンは、「今日中」に物が届くのか、
本当に顧客のためと、本当に会社のためと
顧客視点と長期視点 2017.11 林部健二

2. アマゾンの企業理念

物流 fulfillment とテクノロジーにかける投資が大で、売上は拡大しているが、利益は非常に小さい
流通イノベーション
物流の投資—顧客満足度の向上
未来を見つめる

3. 通販の常識を変えたベゾス



1995年 アマゾンのサービス
商品カテゴリの増加
アマゾンの物流

1990
インターネット

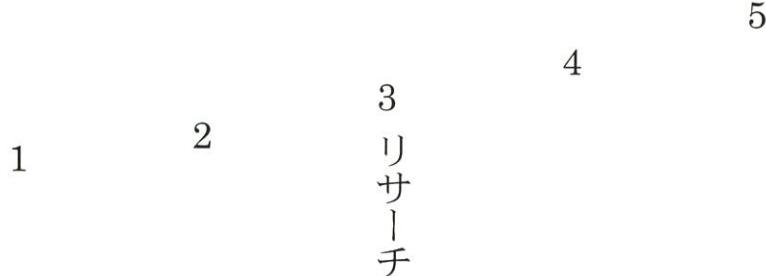
2020
スマートフォン

変化
新しい知
(how livre)思考習慣

4. ジェフ・ベゾス

- (1) 顧客第一 (\leftarrow ライバル企業)
 長期的 (\leftarrow 2~3年でリターン)
 創意工夫 (\leftarrow 誰かのマネ)

- (2) 高利益率のビジネスからは、カイゼン、効率化は生まれない
 18年にわたってアマゾンはリーンな低収益ビジネスを追求してきた
仕入 — 在庫 — 販売 の改善、カイゼン
 ドラッカーとの対話



- (3) ベゾスとキンドル

- (4) 顧客第一主義は博愛精神ではない

顧客のためにになると同時に、長期的に見てアマゾンの利益になる。

ベゾスは、ジョブズを非常に尊敬していたが、iPhone を高利益ビジネスにしたことは失敗だと考えていた。
 ブルドーザーのようなパワーで実現

ジェフベゾス	(アマゾン)	プライムエアー 空中からドローンで配達 ジョブズの後継者
スティーヴ・ジョブズ	(アップル)	
マイク・ザッカーバーグ	(Facebook)	
ビルゲイツ	(マイクロソフト)	

(5) ロングテールへの着目

5. マーケティング

選定は、

- (1) Volume
- (2) 成長性 — 効率性
- (3) 面白いと思うもの

感想は、

企業家 enterpriser

事業主 エンタープライザー

アントレプレナー

Entrepreneur (ship)

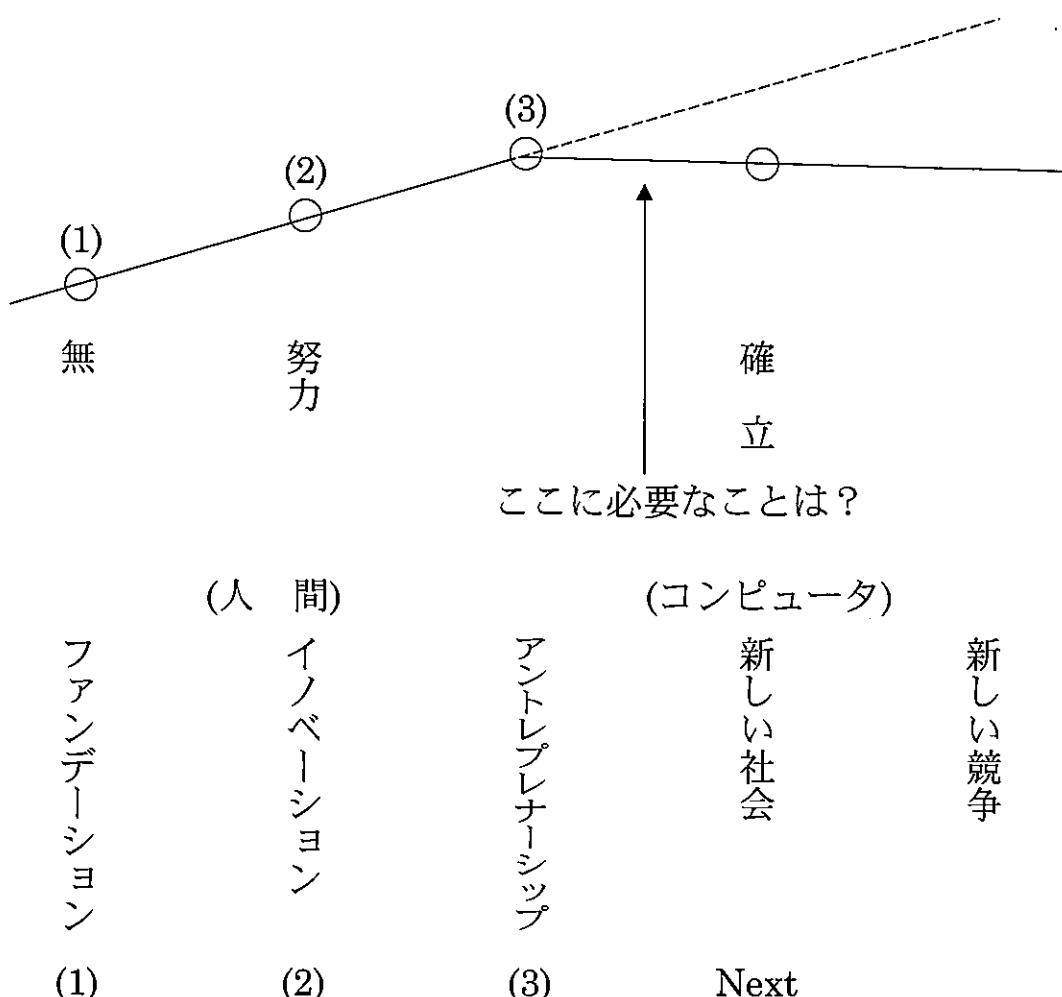
アントレプレナー

技術、経営、組織

新しい局面の創造的な開発



イノベーション（従業員レベルで）



6. 旧態以前の日本的小売業

- (1) 小売業、流通業の停滞（日本の認識）
- (2) アマゾンの桁外れの投資
- (3) 停滞した日本的小売業界へ
あえてネットで展開するクレイジーな会社
2000年末 日本に上陸
- (4) 常識では考えられない
- (5) アマゾンの投資回収は、5年や10年では回収できない
- (6)

7. プロフィットセンター

- (1) 倉庫業務や物流業務をコストセンターからプロフィットセンターへ変える

8. ロンフーテール

③スポーツビジネス

(マネーボール野球、サッカーを通して考える)

2019.06.12 Y
田崎 健太、大野 倫

区 分	内 容	備 考
1、起 源	<ul style="list-style-type: none"> ① 好きな者同士が、興味を持って競技を行う ② それを歓んで、楽しむ者が現われる ③ 一定の場所(フィールド、土俵など)で行う ④ 観覧料を取るようになる 	
2、普 及	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域、国へと拡がる ② 観客層が拡大してゆく ③ 名選手、物語が生まれる ④ 定期的な興行となる 	
3、興 行	<ul style="list-style-type: none"> ① 興行者が現われる ② 料金体系ができる ③ 施設の建設を運営 ④ 投資する者が現れる 	
4、ビジネス化	<ul style="list-style-type: none"> ① 投資と成果の計算が行われる ② ③ ④ 	

11.	競 技	精神道	金儲け	世 界	社 会
(1) 柔 道	○ ドラッカー	×	○ オリンピック	○	
(2) 相 摔	×	○	×	×	
(3) サッカー	×	○	○	×	
(4) 野 球	×	○	△	×	

12、野球は何故、選手を集められないのか

- (1) 日本経済のように斜陽である
- (2) 斜陽の原因は何か
 - ① 高齢化、権威主義
 - ② 海外とのアクセス（←サッカー）
 - ③ 柔道のような理念がない（ドラッカー）
 - ④ " (日本には資源も何もないが)
 - ⑤ 嘉納治五郎の柔道は、金儲けでも国威掲揚でもなかった
- (3) 柔道は、世界を見ている
 - ① 個人の精神養成
- (4) 日本の野球は、金儲けで広がりがない
 - ① 田中も、イチローも個人の金儲けか
 - ② 日本経済の過去も、そうだった

④ 「コンテンツ」の正しい理解 (eSports から見える異業種連携戦略)

2019.07.11 Y
朱 脩 盛

1、現在の技術革新

(1) i-phone の時代

深圳
電子機器、電子部品
深圳では、モバイルからの注文後
コンビニやスーパーから 30 分
以内で自宅に商品が届く
30 分配送サービス アリババ テンセント
モバイル決済支払記録
芝麻信用

(2) コンテンツとは何か

メディアはメッセージ
(運送手段) (コンテンツ)
コンテナ・トラック
(コンテンツ) (運送手段)
広告の限界とコンテンツ
広告はやめる!!など
(インフラ)(事業)

(3) eSports もまた

コンテンツの塊
コンテンツをどう創出して
どう使うのか
観光業のポテンシャル

(4) 従来型の広告

広告効果がどんどん下がっている
その対策には何があるか

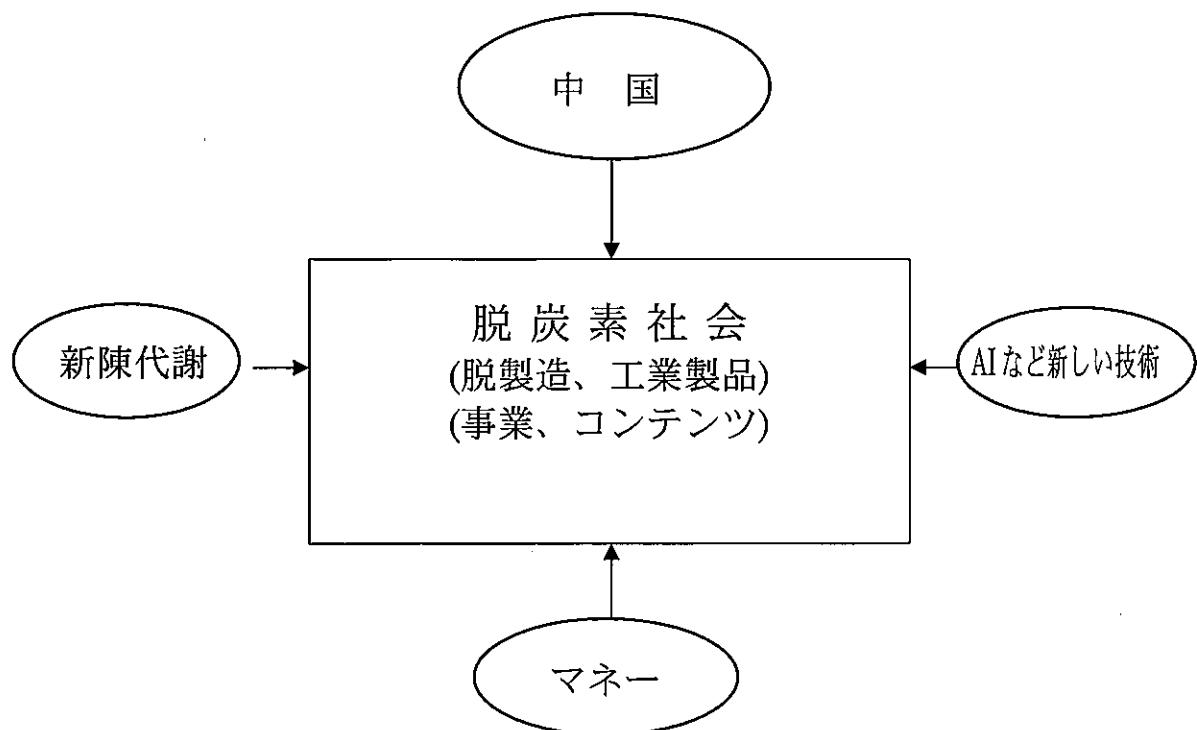
(5) 顧客の関心

顧客自身のこと

(6) 消費者の情報収集

購入前にかなり(平均 10.4 件)の収集

変化する時代、急速に進む時代



(7) 商品を探す時代から、情報を探す時代へ

(8) コンテンツマーケティングによって広告費を引下げる

(9) 顧客のロイヤリティの向上

(10) 海外からの観点

(11) 地方の居酒屋 — ウィキペディア

(12) 商品価値の短命化

2、Face book マーク・ザッカーバーグ
2004～

ソーシャル・ネットワーキング・サービス SNS
Social Networking service
インターネットで特定の関心を持つ人同士が出会う
チャンスを作り、情報交換できるようにするサービス

アマゾン ジエフ・ベゾス

顧客の求めるあらゆるものをオンラインで検索、発見
できることを目指している
ワンクリックオーダー

アマゾンのマーケティング

No.1 ————— No.5

1～3

4、5

人間



コンピューター

(リサーチ)

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) Volume | データを 100 に分ける |
| (2) 成長性 | |
| (3) 向かないと思うもの | |

やる気、手法 — その一部門を受け持つ